

昭和肥料ニュース FAX版



Vol. 032



ホームページにも来てね！ HPアドレス <https://showa-f.co.jp>

大豆の話

米価安を受けて集落営農組織・農業法人の44%が「21年産より転作を増やす」と回答。増やす余地がある品目は複数回答で、①大豆47%、②飼料用米40%（日本農業新聞（4/8）より）と、ビジネスチャンスは大豆にもありそうです。大豆転作には乾燥調整設備投資、販路確保が必要（JAが主体）など導入のハードルがある事は、ここでは置いておき大豆の収量・品質を良くする土づくりのポイントを振り返ってみましょう。

【転作大豆の土づくり 基本】

- 土壌酸度の矯正（水稻は5.5程度、大豆は6.0～7.0を好む、アルカリ資材必要）
- 排水性向上の作業（米は水をためるが◎、大豆は水がたまると×）
- 根粒菌を活かす環境づくり（根粒菌接種推奨、通気性の良い土づくりが必須！）

【もう一歩進んだ提案として】

- 上記3つの基本の他にも、土づくり・肥料面では次の提案も参照ください
- ① 播種時の地温の確保（15℃以上） …初期のりん酸の効きにも影響大
※菌根菌を活かすため、水溶性りん酸主体よりく溶性りん酸主体で
 - ② 開花期のカルシウムの追肥 …シワ粒率の改善、収量アップの事例多い
※酸度調整せずカルシウム追肥だけでは、結果見えにくいようです
 - ③ カリ不足に注意 …稲わら由来のカリに頼り過ぎず適正施肥を
 - ④ 作土深の確保と深部酸度矯正 …株ができるのに、収量イマイチなケース
※登熟期の根の活力維持、日照り年に特に差が出ます
 - ⑤ ケイ酸補給の継続と定期的な輪作 …連作障害対策（対病気、対線虫）
※一般に石灰植物と言われる大豆ですが、ケイ酸補給で生育・品質が改善するようです。（学術的には未証明ですが弊社資材愛用者様より）
 - ⑥ 微量元素の補給 …開花の揃いが良いとの観察、粒肥大が揃うようです
※鉄・モリブデンが窒素固定の酵素形成に関与しています
 - ⑦ 収穫後の残渣分解は丁寧に行う …地力を多く使うため、回復策推奨
※相性の良い分解資材としてHSCをオススメします（水稻・大豆共用）



状況に合わせて、大豆にも弊社ラインナップをお役立てください！
ご不明点はお気軽にお問い合わせください（TEL 0766-67-2700）